



2021年12月23日

各 位

会社名 九州電力株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 池辺 和弘
(コード番号：9508 東証第一部・福証)
問合せ先 エネルギーサービス事業統括本部
企画・需給本部 設備計画グループ長 近藤 秀明
TEL. (092) 761-3031

北九州市響灘地区における 最新鋭「LNGコンバインドサイクル発電所」の開発決定について

当社は、西部瓦斯株式会社（代表取締役社長：道永幸典、以下「西部ガス」）と共同で事業化検討を行ってきた北九州市響灘地区におけるLNG（液化天然ガス）を燃料とした発電所について、本日、開発することを決定しましたのでお知らせいたします。

今後、当社および西部ガスは、2022年度始めを目途に本計画の実施主体となる合同会社を設立し、本開発を進めてまいります。

本発電所は、発電方式にCO₂排出量が少ない最新鋭のコンバインドサイクル※を採用し、カーボンフリー燃料（水素等）の活用を視野に入れた設備となっております。

本発電所の開発により、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた、九州地域の発電設備の低・脱炭素化を進めることが可能となります。

※ ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせた高効率の発電方式

当社は、エネルギーサービス事業を通じて、九州地域における低・脱炭素社会の実現と電力の安定供給に貢献してまいります。

なお、本決定が当社の当期以降の業績に与える影響は軽微です。

[発電所の概要]

建設予定地	北九州市若松区向洋町 <small>こうようまち</small> （ひびき LNG 基地の隣接地）
開発規模	62万kW× 1 基
発電方式	ガスタービンコンバインドサイクル方式 (ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせた高効率の発電方式)
燃料	LNG (Liquefied Natural Gas : 液化天然ガス)
熱効率	約64% (低位発熱量基準)
工事開始	2023年 1 月 予定
営業運転開始	2025年度末

[ひびき天然ガス発電所（仮称）建設予定地位置図]



[ひびき天然ガス発電所（仮称）完成イメージ図]

